

令和5年度第4回東郷町男女共同参画審議会 議事要旨	
開催日時	令和6年2月27日（火）午後2時から午後4時まで
場所	東郷町役場 3階 政策審議会室
出席委員	中林、高橋、中村、柳川、熊崎、半田、山本、婦木、西俣、中川、谷 (敬称略)
事務局	企画政策部長、企画情報課長、課長補佐、主任、主事
傍聴者	なし

### 議事及び内容

#### 次第

- 1 会長あいさつ
- 2 議題
  - (1) 東郷町男女共同参画推進事業「映画会」のアンケート結果について
  - (2) 文化産業まつり「男女共同参画推進コーナー」のアンケート結果について
  - (3) 東郷町男女共同参画情報誌「イーストピア」第13号（案）について
  - (4) 令和6年度東郷町男女共同参画審議会事業計画（素案）について
  - (5) その他
- 3 その他
  - (1) 男女共同参画情報コーナー図書を選書について
  - (2) 愛知県ファミリーシップ宣誓制度について

#### 会議記録

別添のとおり。

(事務局)

ただ今より令和5年度第4回東郷町男女共同参画審議会を開催します。本日の進行役を務めます、企画情報課長の磯村です。よろしくお願いします。

それでは、次第1 会長あいさつです。中林会長、よろしくお願いします。

中林会長あいさつ

(事務局)

ありがとうございました。

ここからの進行は会長にお願いします。中林会長、よろしくお願いいたします。

(会長)

それでは、次第2 議題に入ります。

最初に、議題(1)「東郷町男女共同参画推進事業「映画会」のアンケート結果について」事務局から説明をお願いします。

事務局説明

(会長)

今の説明に質問はありますか。

では、映画会の意見についてお願いします。

(委員)

映画は我々にヒットしているのかなと思います。

10代女性の感想は、虫の居所が悪いのか、3人目以降の感想を読んで安心しました。

(委員)

とても楽しみにしていたのにコロナで参加できず残念です。

関心があるキーワードで、LGBTの関心が高齢者にもわずかにあるところがすごいなと思いました。

(委員)

LINEの担当をしていましたが、アンケート用紙に質問がすべて書いてあると紙でやってしまうんだなと思いました。

もし LINE でやるなら、画面にドンと QR コードを出して読み取る方法でやったほうがやりやすいと思います。講演もなるほどなと思うことがありとても良かったです。

(委員)

講演だけ参加させていただきましたが、最後に審議会メンバーについてエンパワーメントしていただけてありがたかったです。

(委員)

10代女性の意見は、男女共同参画という文字でこの事業を少し穿った見方をされているのかなと思いました。性差ではなく、誰もが生きやすいという点で理解されていないのかなと思います。

男女共同参画という言葉はずいぶん長く使われてきましたが、なかなか浸透できていないのだなと思いました。

(会長)

男女共同参画=男女平等と受け取ってしまう人がいるので、平等ではなく生きやすさをアピールしたほうがいいかなと思いますね。

(委員)

10、20代の意見は、男女共同参画という言葉にこだわりすぎているように思います。男女で関係ないよという年代もあると思います。

今の人は男女仲良くしていますので、かえって、男女共同参画という言葉を使うことに抵抗があるのではないかと思います。

映画は、男女共同参画にクローズアップすると物足りなかったかもしれせんね。

LINE アンケートについて、スマホでやることへの恐怖感があり、スマホでのアンケートは抵抗があるように思います。そこをどのようにクリアしていくかが課題ではないかと。確定申告でも、結局スマホでやらないという人もいます。

(委員)

映画会終了後、座席を元に戻す人が不足、LINE アンケートを担当していた委員さんを頼ってしまい、LINE アンケートの案内ができなかったと思うので、役割分担が適切でなかったと思います。

QRコードについては、できたらチケットにQRコードを貼っておいた方がよいのかなと思います。

QRコードを読み取ることが不安という話もありますが、出所がわかれば安心していいですよときちんと説明したほうがよいのではないのでしょうか。

やったことがない人は、不安感が強いのではないかと思います。

今後の社会を考えるとスマホを使えるようになった方がいいと思うので、こういった取組は今後も取り入れた方がいいと思います。

ほかの市はチラシを商業施設で配布していました。チラシを置くだけでなく、若い人が働いている企業に出向く等の工夫をしないと、年代の幅は広がらないと思います。

(会長)

終了後の会場チェックが上手くできておらず申し訳ございませんでした。来年度からは半分くらいの方が会場チェックにまわるようにしたいと思いました。

配布方法については来年度考えていきたいと思います。事務局も検討に加えていただくようお願いします。

(委員)

映画と講演の内容がわかりやすくよかったです。

映画は楽しく見れて、シェアハウスはこういう選択肢もあるのだなと面白いなと思いました。10代の意見はハッとしました。

(委員)

講演と映画のつながりがとてもよかったです。

また、よかったよと周りから感想をもらいました。これからは皆さんの関心に注意し映画の作品の選択が重要なのかなと思いました。

6ページ1番下の意見は、感性は人それぞれだなと、いろいろなことに気を配らないなと思いました。

(委員)

皆様のご協力でスムーズな案内ができたと思いました。

講演についてはリピーターが多いと思い、男女共同参画言葉に関して法律ができてから20年以上たっているので、その点の説明を省いてしまったが、蓋をあけたら半分が初めて映画会に参加していたということで、言葉の説明を丁寧に心がければよかったという反省がありました。

10、20代の辛辣な意見は、個人的には歓迎します。率直に意見を出し合える場が大切だと思います。

(委員)

わかったうえで、10、20代のこういった意見が出ていると思います。  
性差があることをわかっていて、その違いがあってもいいでしょという感覚なのではないかと思います。

(委員)

映画会をHPで知った経験がないです。町HPをわざわざ見に行かないです。広報で大体わかるので。

ただ、杓子定規なので、画像や構成にもう少し工夫がほしいなと思います。クローズアップしたい記事もすべて同じように羅列されているので目立たないです。

確定申告会場でも、広報もHPも何も見てこない人ばかりです。言葉も優しくないと、行政からの一方通行のように感じます。

(会長)

HP担当の部署に意見として伝えてください。

(事務局)

タイムリーな情報はSNSで発信しています。

(会長)

ここまでで、質問のある方はいますか。

議題(1)について、承認いただける方は挙手をお願いいたします。

**全員挙手**

(会長)

全員挙手いただきましたので、議題(1)については、事務局の提案どおりとします。

次に、議題(2)「文化産業まつり「男女共同参画推進コーナー」のアンケート結果」について、事務局から説明をお願いします。

**事務局説明**

(会長)

今の説明に質問または意見をお願いします。

(委員)

当日は、最初から最後まで缶バッジ作りはとても忙しかったです。その後、バッジをつけている人を見ないのが残念でした。会場はとても良かったと思います。

(委員)

映画会と違い、いろんな年代の方がアンケートに答えてくれていてよかったですと思いました。気軽に知れる機会があるといいなと思いました。

(委員)

初めて参加しましたが、いろんな年代の方に啓発できてよかったです。お祭りのように人がたくさん来る場所で行えてよかったですと思います。

(委員)

缶バッジは好評でした。あまりにも自由にデザインしてしまうのは、男女共同参画と全く関係なくなってしまうので注意が必要かなと思います。

会場の場所がとても良かったです。

(委員)

規模を考えると、映画会は高齢者をターゲットに、こちらは子育て世代をターゲットにした方が効果的のように思いました。

意見にあった YouTube やアニメ等を上手く活用すると若い人にも敷居が下がっていいのかなと思いました。

(委員)

男女共同参画に関心がない人も来場し、さまざまな年代が来るので、アピールする良い機会だと思います。

男性も女性も尊重されるんだよというのは、家庭でのベースが大切なのではないかなと思います。多様な価値観があるというのを教えるのが学校だと思います。

どの価値観も間違っていないくて、多様な価値観を認め合うという重要性を改めて感じました。

学校では男女共同参画という言葉を使わなくなっていると感じます。ジェンダー平等、LGBTQをよく使っています。

なので、余計に10、20代は男女共同参画という言葉が聞きなれないのかな

と思いました。

(会長)

男女共同参画は古い言葉になっているのかもしれないですね。

(委員)

缶バッジがあることで、お子さんとその保護者が来てくれるいいきっかけになっているように感じました。

普段、男女共同参画という言葉だけ聞くと近寄りたくないという人も来てくれて、とても良い啓発の機会になったと思います。

自分は関心がないという意見もありましたので、なぜこのことを考えていけないといけないのかが伝わりづらいのかなと思いました。

こういった課題があるよということも同時に伝わっていくといいと思います。その点を見える化するといいいかなと思います。

(委員)

皆さん真剣に回答していただけてありがたかったです。

缶バッジがきっかけとなり、ファミリー世代が来てくれて、アンケートに答えてもらえました。

子どもがステージに出演し、その親御さんが来るので、子どもが楽しめる企画をできるといいと思います。

男女関係なく過ごしているのに、男の子がキャップの帽子、女の子はハットなのが疑問に思います。選択肢が増えるといいですね。

(委員)

アンケートにたくさん答えていただけて、良い成果になっていると思います。

家族単位が多いと思うので、ファミリー世代に関心があるもので引き寄せてもらえるといいと思いました。

(委員)

男女共同参画という言葉は世代によってとらえられ方が違うのだと思います。中学生もジェンダー平等という言葉を使っていることに驚いたことがあります。

学校であまり差別を感じたことがない人が7割で、社会に出てから男女の区別でいろいろな思いをされている方が多いのだと思います。

わからない、思いつかないとアンケートに回答している人には、確実にいろんなメッセージが伝わっているのではないかと思います。講演等から、自分はこう

なりたいといった展望を持っているのかなと思いました。

いろんな方が関わっていることが子どもたちの刺激になっていると思います。

(会長)

文化産業まつりの意見として、また反省点として事務局にお預けしますので  
よろしくをお願いします。

それでは、議題(2)について、承認いただける方は挙手をお願いいたします。

#### **全員挙手**

(会長)

全員挙手いただきましたので、議題(2)については、事務局の提案どおりとしま  
す。

続いて、(3)東郷町男女共同参画情報誌「イーストピア」第13号(案)につい  
て事務局から説明をお願いします。

#### **事務局説明**

(会長)

それでは質問、意見のある方は挙手をお願いします。

(委員)

5月または6月号に掲載とありますが、年1回の掲載ということですか。

(事務局)

お見込みのとおりです。

(会長)

毎年5月か6月というのは決定ですか。

(事務局)

決めていた方が広報作成のスケジュールの都合上、調整しやすいと思います。

(委員)

イベント等の取組は別で広報に載せるということですか。

(事務局)

お見込みのとおりです。例えば、映画会であれば別途広報へ記事掲載を行います。

(委員)

男女共同参画の取組をアピールしていただけたらと思います。

(委員)

冊子のときと比較してページ数が減りますが、文字は小さくしてほしくないです。

(会長)

これまでの回覧だと、地区によっては全てファイルに入っていて、わざわざ出して読まない人が多いのかなと思います。

なので、広報の方が読んでもらえると思います。

今回は、県のファミリーシップ制度のことだということですが、今後のテーマは審議会で協議するという事でいいですか。

(事務局)

お見込みのとおりです。その時々状況に合わせて審議会でテーマを協議していく予定です。

(委員)

町に引っ越してきたばかりの方々は、自治会に加入するまでタイムラグがあるので、広報掲載による全戸配布への変更は賛成です。

県のファミリーシップ制度によって、町の施策も進んでいくと思うと嬉しいです。

(事務局)

「イーストピア」という言葉は残しますか。

(委員)

残さなくていいと思います。

(委員)

一目でわかるようなマークは残してほしいなと思います。

(会長)

そのような意見を入れていくようお願いします。

それでは、議題(3)について、承認いただける方は挙手をお願いいたします。

#### **全員挙手**

(会長)

全員挙手いただけましたので、議題(3)については、事務局の提案どおりとします。

次に、議題の(4)令和6年度東郷町男女共同参画審議会事業計画(素案)について、事務局から説明をお願いします。

#### **事務局説明**

(会長)

それでは意見や質問をお願いします。

また、広くアンケートを取る方法として、今までどおり文化産業まつりへ参加する方法と、文化産業まつりへの参加をやめ、LINEによりアンケートを実施する方法どちらがいいかということだと思いますが、この点についてもよろしくをお願いします。

(委員)

来年度は文化産業まつりの時期に体育館の修理があり、ブース出展の場所が確保できるか課題としてあると思います。場所が取れないなら、そもそも違う案を考えないといけないと思います。

(事務局)

LINEによるアンケートに切り替える代替案は、体育館の工事とは別で考えています。体育館の工事による文化産業まつりへの影響については、情報が下りてきていない状況です。

(会長)

事業仕分けなど費用対効果を考えた結果、代替案としてLINEによるアンケートですか。

(事務局)

文化産業まつりでのブース出展についての費用はそこまでかかっていないので、もちろん継続は問題ありません。

事業見直しは、経費だけでなく、職員の負担軽減という面もありますし、委員さんの負担も大きいと、費用対効果を考えたとき、この取組が目的達成に合致しているかという点で見直ししています。

去年やったことを必ず今年もやるという考え方は置いておいて、より効果的な方法は何だろうと考えたときに、文化産業まつりでなくても良いのではないかと考え、あくまで提案ということで今回お話ししました。

(委員)

文化産業まつりというテーマでやっている中、“文化”の部分がなくなってしまうのではないかと疑問です。町民の皆様にはアピールする場として、映画会だけで足りるのか大丈夫でしょうか。

(事務局)

LINEで友だち登録している方は、映画会などに参加いただいている人数よりも多く、アンケートをする際はその中で啓発しながらのアンケートになると思います。

文化産業まつりで行う必要があるのかどうかを皆さんの意見で決めていきたいと思っています。

(委員)

LINEにちょっとした動画を添付して流すことはできますか。アンケートだけだと適当に答えて終わってしまうと思います。少しでも啓発できるといいと思います。

LINEの方が圧倒的に効率がいいと思います。高齢者には、映画会で意見をもらうという風にできるといいと思います。

(会長)

吉田先生の時にもYoutubeを活用した事例があったと思いますがいかがでしょうか。

(事務局)

映画会の代わりにYoutubeを活用したこともあります。

(会長)

文化産業まつりには、審議会発足前の協議会のとき初めて参加しました。トイレットペーパーやゴミ袋などを配布した記憶があります。

その後、映画会をやることになり、文化産業まつりと映画会の2本立てになりました。最初は1つしかイベントをしていなかったもので、必ずしも2つやらなければならないということではないと思います。

(委員)

文化産業まつりに参加しない場合、LINEでアンケートをもらうということでしょうか。急にアンケートだけ送るのではなく、目的をつけてアンケートを行った方がいいと思います。

大勢から意見をもらえるという点が文化産業まつりの利点だと思うので、その点がクリアできればいいと思います。

(事務局)

映画会のアンケート結果では、男女共同参画という言葉の認知度を見ると、初めての参加とリピーターでは差があります。言葉の認知度を上げるという意味では、文化産業まつりは効果があると思います。

ただ、皆さんの労力がかからず言葉の認知度を上げる代替案があればより良いと思います。

(会長)

負担があると思う人はいらっしゃいますか。

(委員)

半日がいいです。

(委員)

文化産業まつりと家、どちらがちゃんと回答してもらえるのでしょうか。私なら家でゆっくりアンケートを回答する方がいいです。

(委員)

何かのイベントと一緒にないと、アンケートは答えないのではないかと思います。LINEだと気軽にスルーできてしまいます。

パネル展示だけ実施して、アンケートに答えてもらう方法もあるかなと思います。

(会長)

イーストピアの代わりに広報に掲載するので、そこにQRコードを付けておくのはどうでしょうか。

(事務局)

LINEの配信時間を工夫することで、回答数を上げることができると思います。プラス何か工夫があればより良いと思います。

(委員)

面と向かってお願いされると、いやいやでも回答してくれる人もいます。回答してほしい年齢層がいます。

性的マイノリティへの差別や偏見がなくなることが最終目的だと思います。地道な活動だと思いますが、広くアピールすることが必要だと思います。

(事務局)

LINEを活用することで未回答の割合が高くなることは間違いありませんが、対象者の母数は2万人以上になるので、映画会と文化産業まつりで集めた回答よりは多い回答を得れると思います。

また、インターネットを使うので、普段、男女共同参画推進事業に参加されない方の意見も聞く機会になると思います。

(会長)

いったんはLINEアンケートをやってみて、やっぱり文化産業まつりの方がいいよねとなったら、また参加するのもありだと思います。

(委員)

男女共同参画は、文化と産業の基盤だと思っています。人権の保障がないと全ての人を楽しめる文化や全ての人利益を受け取る産業は難しいと思います。そういった意味で、地味でもそのコーナーがあるという、存在意義が重要なのかなと思います。

基盤があって、文化や産業の発展があるという点が大切だと思います。

リソースが限られている中、できるだけ皆さんの負担を減らしながら、例えば、広報の紙面を拡大印刷したものを展示し、アンケート調査実施中というPRをするという方法も考えらえると思います。

缶バッジは、子どもが楽しむ場としては良かったと思っています。レインボー

の意味に意識がなくても、別の情報に出会ったときに、缶バッジの意味に気が付く種になったかなと思います。

LINE アンケートになると、子どもたちが対象から外れやすいと思うので、子どもたちにどのように伝えていくかも検討していただけるといいかなと思います。

(会長)

それでは文化産業まつり参加の代替案について皆さんの意向を確認したいと思います。

① LINE アンケートに賛成：3

② 今までどおり文化産業まつりに参加に賛成：8

(委員)

LINE アンケートは賛成ですが、それだけという点に疑問を感じています。

(委員)

「なぜ人権ブースと別でやっているのか」という意見がありました。一緒にやってもいいと思います。

(事務局)

検討します。

(委員)

ウィルあいちのパネルを活用するのもいいと思います。

(委員)

町内の人しか見れなかったイーストピアを掲示するのもいいと思います。

(会長)

文化産業まつりについて今までと同じような参加の仕方ではなく、負担が減るようコンパクトに実施ということで承認いただける方は挙手をお願いします。

**全員挙手**

(会長)

ありがとうございます。それでは、コンパクトに実施できるようよろしく願いします。

(会長)

それでは次に、(5)その他は何かありますでしょうか。

(事務局)

ありません。

(会長)

これで、本日すべての議題が終了したので、進行を事務局にお返しします。皆さん積極的なご意見をありがとうございました。

(事務局)

中林会長、議事の進行をありがとうございました。

また、委員の皆様には、ご熱心な議論とスムーズな議事進行にご協力いただきましてありがとうございました。

それでは、次第3の「その他」に移ります。

最初に、(1)「男女共同参画情報コーナー図書を選書について」事務局から説明します。

#### 事務局説明

(事務局)

ただいまの説明に質問やご意見はありますか。

他にご質問やご意見がないようですので、(1)については、以上で終了します。

次に、(2)「愛知県ファミリーシップ宣誓制度について」事務局から説明します。

#### 事務局説明

(事務局)

ただいまの説明に質問やご意見はありますか。

(委員)

入籍とは別の制度でしょうか。証明書は、戸籍等の代わりになるものでしょうか。

(事務局)

県から出るファミリーシップの証明書です。戸籍や住民票とは異なります。

(委員)

県知事に宣誓したら、町でもサービスを受けられるということでしょうか。パートナーのお子さんの教育相談に来る場合もあるということでしょうか。

(事務局)

お見込みのとおりです。

(会長)

申請先は県ですが、この表のサービス担当課は町の部署ということでしょうか。

(事務局)

お見込みのとおりです。

他にご質問やご意見がないようですので、(2)については、以上で終了します。

続いて、本日、卓上配布しました資料7「2024年度愛知県男女共同参画人材育成セミナーについて」事務局から説明します。

#### 事務局説明

(事務局)

ただいまの説明に質問やご意見はありますか。

(委員)

スケジュールに時間の記載がありません。

(事務局)

受講者には追って説明があります。

他にご質問やご意見がないようですので、以上で終了します。

最後に委員の皆様の任期ですが、令和6年3月31日で一区切りとなります。

今回の任期期間中、貴重なお時間と労力を割いていただき、心から感謝申し上げます。

げます。

次年度も委員をしていただく方向けに、次回開催予定日をご案内します。

今回は、5月21日（火）午後2時から、ここ役場3階政策審議会室で開催する予定です。対象となる方は、ご出席くださいますようお願いいたします。

最後に、全体を通して何かご質問はございますか。

（会長）

第1回審議会では映画会の作品を決めますか。

（事務局）

その予定です。3月末までに、映画作品や講師の推薦がある方は事務局までご連絡をお願いします。

それでは、以上で令和5年度第4回東郷町男女共同参画審議会を終了します。

本日は、長時間にわたりご審議いただき、ありがとうございました。お帰りの際は、お忘れ物ございませんよう、気を付けてお帰りください。本日は、大変お疲れ様でした。

以上